

令和 2 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	政策推進事業	会計名称	一般会計		担当課	未来づくり戦略室	
		予算科目	2 款 1 項 2 目	事業番号	576	所属長名	皆川竜男
事業評価の有無	<input type="checkbox"/> 評価対象事業	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)			担当責任者名	岡井隆治	
法令根拠等	特になし				実施期間	【開始】	令和/平成 26 年度
総合計画での位置付け	参画協働推進都市の創造 効率的で透明性の高い行財政運営					【終了】	令和 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	市の重要課題である「経済環境の充実」を図る上での主要なプロジェクトが絡む事業として位置付けている。						
事業の対象	未来づくり戦略室の運営及び、市が行うべき重要施策、解決すべき地域課題			事業の目的	未来づくり戦略室の運営管理をするとともに、市が持つ地域資源や魅力を市内外に向け効果的にアピールし、交流人口の増加・移住定住の推進・特産品の知名度向上・企業誘致の促進等につなげるため、積極的なトップセールスなどを実施・展開する。また、近年課題となっている甚大災害を未然に防ぐ計画策定を行う。		
事業の内容 (整備内容)	本市の魅力や様々な地域資源を市内外に積極的に発信するため、市長自らが県外の愛媛県人会の会合への出席、特産品フェアや企業誘致セミナー等への参加により精力的なPR活動に取り組む。また、喫緊の課題となっている国土強靱化地域計画の策定を年度内に行う。			評価事業としないこととした理由	トップセールスや計画策定予算はあるものの、主に室の一般事務予算的な要素が強いため。		

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	2 年度予定	9月末の実績	2 年度実績
直接事業費	1,014	8,749	△ 3,892	0	0	4,480	トップセールス実施回数	回	3	1	0	0
財源内訳	国庫支出金	250	300	0	0	222	国土強靱化地域計画策定	-	-	策定	策定 (作業中)	策定
	県支出金	0	0	0	0	0						
	地方債	0	0	0	0	0						
	その他	0	0	0	0	0						
一般財源	764	8,449	△ 3,892	0	0	4,258						
職員の人工 (にんく) 数	0.40	0.40				0.40	県市町連携事業 (愛・野球博) 負担	円	500000	600000	600000	445417
1人工当たりの人件費単価	7,992	7,812			7,812							
※ 直接事業費+人件費	4,211	11,874			7,605							
主な実施主体	直接実施 国土強靱化地域計画策定のみ委託 (綱ぎようせい)		実施形態 (補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)		愛・野球博開催事業費負担金 446千円 国土強靱化地域計画策定支援業務委託料 3,608千円		特産品フェアへの協力		2	2	1	2
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)							3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	5年間の合計
							1,280	1,280	1,280	1,280	1,280	6,400

事務事業評価 (CHECK)

自己判定 (担当責任者)	事業の成果	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、県人会の開催中止などあり、県外でのトップセールスはできなかったものの、連携協定5年を迎えたDCMダイキで開催の特産品フェアには他課と協力して、物産販売、PRに努めた。また、国土強靱化地域計画を策定し、今後の災害未然防止に向けた対策を立てることができた。県が主導する地方創生事業 (横連携) の愛・野球博は、2022年のオールスター愛媛開催まで延長することが決まり、引き続き負担金の支払を行うとともに、社会教育課が主体となり野球関連事業を展開する。		
一次判定	事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する	判断の理由	行政内部事務であるため。

二次判定	<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	⇒	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
	<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
	<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。		

行政評価委員会の答申 外部評価	答申の内容

今後の方向性 (ACTION)

経営者会議 の最終判断	事業の方向性		コメント欄
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	